

神さまの愛をどのように伝えよう？

自分自身(リーダー・大人)でできること

1. 伝える

* 神さまのことを伝える

- ・ 苦しいとき神さまがそばにいて助けてくださる
- ・ どんなときにも一緒にいてくださる神さま
- ・ 悪いことがある中にこそ神さまの愛が見える
- ・ 神さまに感謝

* 自分の信仰を伝える

- ・ 自分の「信仰」を、想っているありのままの考えを少しずつでも伝える
- ・ 自分が信仰深くあること
- ・ 神さまの子どもとして喜び生きる

* キリスト教の価値観を伝える

- ・ 自分も大切な存在だと気付く

2. 祈る・委ねる・信じる ※1

* 祈る ※2

- ・ 子どもと共に祈る、ロザリオとか
- ・ 食前の祈りを必ずする
- ・ 一緒に祈る

* 委ねる

- ・ 聖霊の助けに身を委ねる

* 信じる

- ・ 子どもの中に働く神の力を信じる
- ・ 子どもが発想を大切に
- ・ 子どもは神さまと直結
- ・ 子どもの中にもイエスがいる
- ・ 子どもたちからもらう恵みがいっぱいある
- ・ 神さまを愛してる若者はたくさんいる

3. 意識する・理解する

* 意識する

- ・ 常に喜んでること
- ・ 相手を変えるより自分が変わる
- ・ 神の愛は何かを自分が知り体験する
- ・ 私たちの心に余裕を持つこと
- ・ 自分も子どもと共に成長する
- ・ 模範になる
- ・ 待つ姿勢
- ・ 種をまくだけで十分

- ・結果を求めすぎない
- ・子どものそばにいる

*理解する

- ・子どもの背景の現実を知る
- ・子どもの気持ちを理解する
- ・子どもたちの意見をよく聴く
- ・子どもと共に聖書を読み、本音を分かち合う
- ・子どもたちの国を理解する
- ・教えずに話を聴く
- ・対話する
- ・子どもの目線で見ると考える
- ・子どもの心を開いてもらえるような語りかけ
- ・子どものスケジュールを考えてあげる

教会共同体でできること

1. 雰囲気をあたたかく

*雰囲気作り ※3

- ・ありのままを受け容れられている雰囲気
- ・何でも話せる、のびのびと過ごせる場所、時間、雰囲気
- ・神さまの愛の雰囲気
- ・一人ひとりの存在を大切に
- ・顔と顔が向き合える
- ・安堵の場所の提供
- ・困難を分かち合える、出し合える雰囲気
- ・家庭的な雰囲気に
- ・乳児が泣いても受け容れる教会
- ・友だちを誘って来やすい雰囲気
- ・楽しい経験をし、楽しい雰囲気を出す
- ・子ども連れの親子を見守る
- ・赤ちゃんの泣き声を受け容れる
- ・声かけ、スキンシップ
- ・来て良かったと思える雰囲気
- ・子どもを見守る大人の優しいまなざし

*声かけ

- ・「教会に来なさい」よりも「祈ってるよ」あとは神さまにお任せ
- ・声かけにより救われる
- ・教会行事に誘う
- ・声かけで認めてくれる

2. 作る

*典礼作り

- ・子どもと共に捧げるミサ
- ・子どもにもわかるミサに大人もあずかる
- ・ミサの中での子どもの居場所

- ・奉仕をさせて役立ち感を得る

*リーダー作り

- ・子どものことを思ってくれる人
- ・保護者会、父ちゃんの会、母ちゃんの会

*役割・主体性作り **※4**

- ・一人ひとりの役割を持ってもらう
- ・現状維持ではなく若者の創造を育む
- ・青年や子どもたちの主体性を引き出す
- ・青少年の持っている力を育むプログラム
- ・大人が手を出しすぎない
- ・子ども参加(子どもに役割がある)のミサを行う

3. 協力する

- ・一人ではなく皆で支える関心を持つ教会
- ・教会行事への子どもの参加
- ・幼稚園を通して、幼稚園と一緒に
- ・土曜学校と教会の交わり
- ・教会行事(敬老会、クリスマス会)の歌、劇で喜びを伝える
- ・協力宣教の精神で共同体の協力
- ・行事に行くときの交通手段や車の提供

4. 祈る・委ねる・信じる(前記参照 **※1**)

教会学校でできること

1. プログラムを良いものに

*祈る(前記参照 **※2**)

*良質のプログラム

- ・数多い集いよりも良質の集い・行事を少ない回数に凝縮する
- ・聖書から
- ・頭だけでなく心や体も

*内容

- ・生きるために何が必要かを考える機会・場
- ・神さまの愛について
- ・皆で振り返り
- ・学校では習わないことを伝える
- ・勉強にしない
- ・導入に傾聴、歌、運動、ゲームを取り入れる、導入のくふう
- ・聖書を通しての勉強で人が変わる
- ・プログラム作り、役割作り、リーダー作り、雰囲気作り、仲間作り
- ・来ることを義務化しない

*行事 **※5**

- ・体験・巡礼旅行
- ・自然の中でのキャンプ

- ・奉仕をさせて役立ち感を得る
- ・行事に行くときの交通手段や車の提供

2. 家庭と共に

* 家庭の理解

- ・教会と親の温度差
- ・家庭の信仰教育

* 家族

- ・親も共に教会学校を体験する
- ・家で父が聖書を読んで聞かせる
- ・リーダーと両親の関わり
- ・子どもたちの家族の話聴く
- ・行事での親の協力
- ・子どもを見かけたら保護者にも声かけ

3. 作る

* 雰囲気作り(前記参照 ※3)

* 役割・主体性作り(前記参照 ※4)

* 仲間作り

- ・歌、ゲーム、ハイキング、遠足を通して
- ・神さまを信じる仲間
- ・その子どもの友達と一緒に
- ・行事(前記参照 ※5)を通して
- ・ことばの違いを越える(ダブルの子どもたちの場合)

* 交わりの場作り

- ・お菓子を配る
- ・子どもたちが安心して遊べる場の提供
- ・けんかや助け合いをして兄弟姉妹や家族のような雰囲気作り
- ・青年担当の喫茶コーナーに子どもたちも興味津々、ときどき手伝ってくれる
- ・声かけで認めてくれる
- ・ダブルの子どもたちへの配慮

* ネットワーク作り

- ・信者同士協力し合う
- ・青年は教区外とのつながり
- ・子ども同士つながり
- ・小教区外のダブルの子どもたちの交流
- ・教区レベルの行事に参加